



**森林総合研究所（東北支所・東北育種場・東北北海道整備局）
公開講演会開催のご案内**

ポイント

- ・ 森林総合研究所の東北地域に所在する東北支所・東北育種場・東北北海道整備局は、研究・事業の成果を社会に広めるために、一般市民の皆様、林業関係者の皆様を対象に公開講演会を開催します。
- ・ 10月27日（火）12時55分からプラザおでって内3階おでってホール（盛岡市中ノ橋通1-1-10）で行います（入場無料、事前の参加申込み不要）。

概要

国立研究開発法人森林総合研究所では、「木材利用がきり拓く未来」と題して、10月15日（木）にヤクルトホール（東京）で公開講演会を開催します。支所においても、それぞれ公開講演会を開催することとしています。

東北地域に所在する私ども東北支所・東北育種場・東北北海道整備局においては、マツ枯れに関係する生物間の相互作用、積雪と地滑りの関係性、森林経営信託化のための諸要素、エリートツリーを用いた林業活性化、クマ剥ぎ被害の対策といった東北地方での重要な問題について、これまでの研究・事業の成果をわかりやすくご紹介いたします。また、休憩時間には私ども3組織の研究・事業を紹介したパネルを会場内に展示して職員がご説明いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】：平成27年10月27日（火）12時55分～16時40分（開場12時30分）

【場所】：プラザおでって3階おでってホール（盛岡市中ノ橋通1-1-10）

【プログラム】：講演

1. 「マツ枯れにおける生物間相互作用 ―線虫・菌類・カミキリムシ―」
（東北支所森林被害研究グループ主任研究員 前原紀敏）
 2. 「雪は果たして敵か味方か？積雪地域で発生する地すべり災害」
（東北支所チーム長（山地保全担当） 岡本隆）
 3. 「林業の経営信託技術にみるビジネス化の諸要素」
（東北支所森林資源管理研究グループ主任研究員 大塚生美）
- ＜休憩・パネル展示発表＞
4. 「エリートツリー（次世代精英樹）の利用で目指す林業の活性化」
（東北育種場育種課主任研究員 玉城聡）
 5. 「クマ剥ぎ被害防除への取組 ―対策とコスト縮減に向けて―」
（東北北海道整備局水源林業務課保護係 能登忠博）

問い合わせ先など

国立研究開発法人森林総合研究所東北支所長 駒木貴彰

広報担当者：森林総合研究所東北支所産学官連携推進調整監 田端雅進

問い合わせ先：森林総合研究所東北支所連絡調整室

Tel：019-641-3930

Fax：019-641-6747

本資料は、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の県政記者クラブに配付しています。

